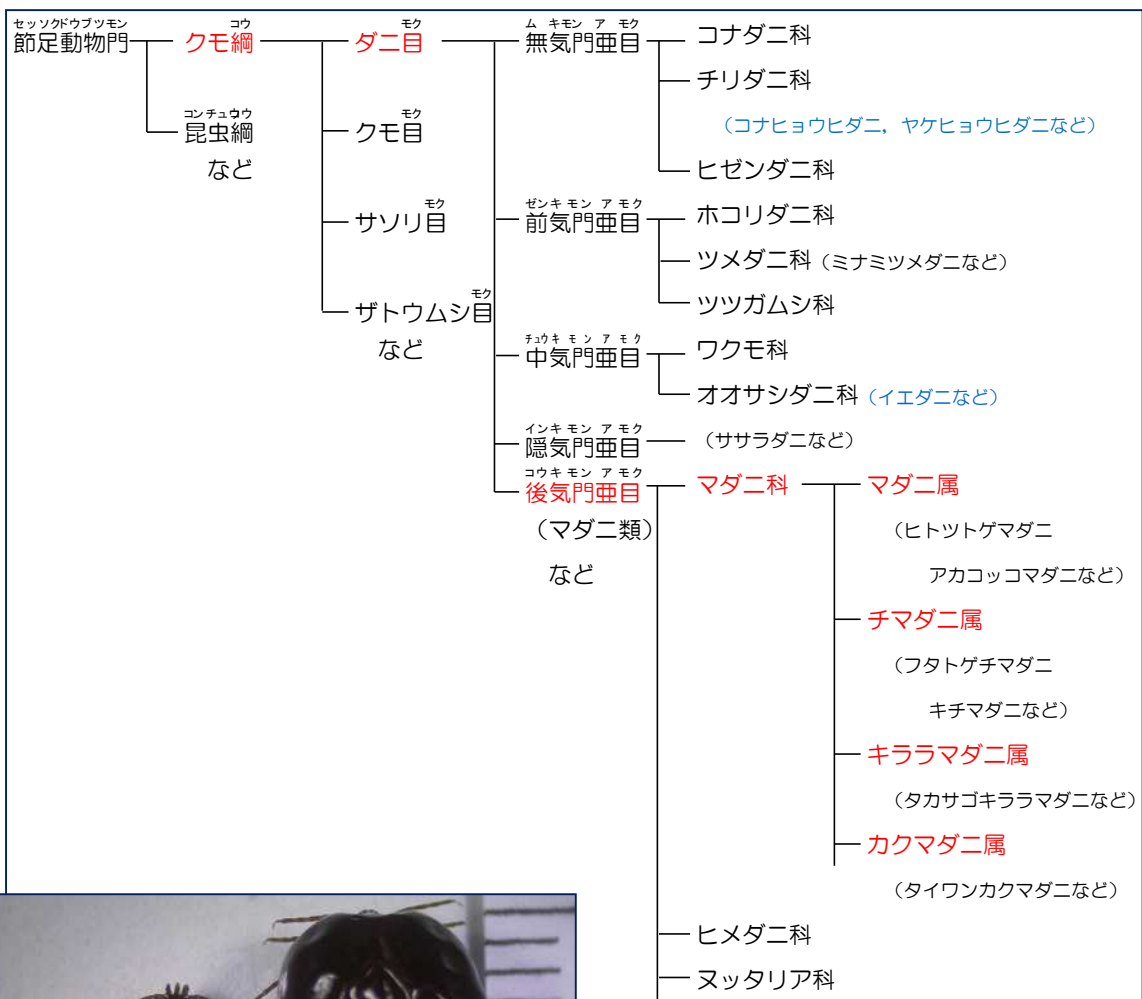


マダニ

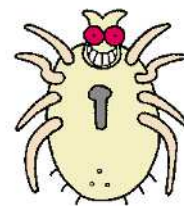
マダニとは

マダニは、昆虫の仲間（足が6本）では無く、クモの仲間（足が8本）に分類され、生き物の血を吸って生活しています。アレルギーの原因になるチリダニ、ネズミなどに寄生して人の血も吸うイエダニなどの「ダニ」とは分類や姿、大きさが異なるマダニ類(後気門類)に属しています。国内には、約50種類のマダニが生息していますが、人に被害を及ぼしているのは約10種類です。

難しい呼び方ですが、分類名を紹介します。



ダニ ノミ マダニ (吸血前) マダニ (吸血後)

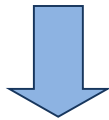


マダニの吸血行動

- ① マダニは、草などの先で人や動物を待ち伏せし、足元などから取り付くと、体の表面を移動します。



- ② お好みの場所まで移動すると、皮膚に切り口をつけてストローのような口器を差し込みます。この口器には返しがあって、一度差し込むと抜けにくい構造になっています。



- ③ 口器を差し込むと、セメントの様な物質で血を吸う相手の体と口器を抜けないように固定し、ゆっくり血を吸うのです。このように、マダニは人や動物の体にしっかり自分の体を固定するため、手で引っ張るだけでは、なかなか取り除くことができないのです。



- ④ 約1週間、血を満腹に吸って体重が100倍くらいになったマダニは、人や動物から離れ、落ち葉などの下に産卵します。

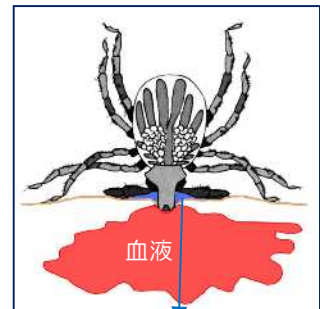


獲物を待ち伏せる
タカサゴキラマダニ



マダニのアゴの部分

- ① 抜けにくい返しのある口器
- ② 皮膚を切る刃

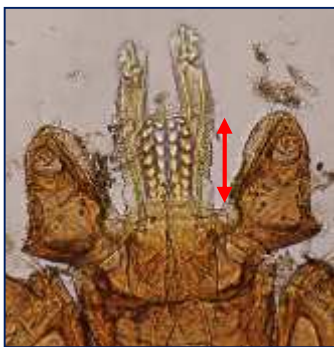


セメントの様な物質

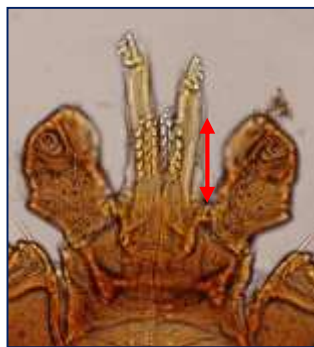


マダニの刺咬被害

1 マダニには、口器の長い種類があります。このような種類は、無理に引き抜こうとすると、口器を含むアゴの部分がちぎれて皮膚に残って化膿することがあるため、マダニに取り付かれた場合は、皮膚科などを受診して除去してもらいましょう。また、引き抜こうとした際、マダニの体を潰してしまうと、病原体が注入されることがあるので注意が必要です。



キチマダニ



フタトゲチマダニ



タカサゴキララマダニ

2 マダニは血を吸う際、自分の唾を相手に注入します。この中には、様々な病原体が含まれるため、血を吸われた周囲が赤く腫れることや、化膿する場合があります。マダニの被害に合った場合は医療機関を受診して、マダニの被害に合ったことを医師に伝えましょう。



マダニの刺し口



マダニの生息場所

マダニは地域の気候などの条件により、生息する種類に違いが見られますが、国内全域に生息しています。

京都市でもマダニの生息状況について、調査を行っています。いろいろな地域で数種類のマダニが多数生息しているのを確認しました。

マダニは動物の血を吸わないと生活できないため、野生の動物が生息する場所にはマダニが生息している恐れがあります。動物の種類はトカゲ、ネズミ、ウサギ、タヌキ、シカ、イノシシなど様々です。また、マダニは高温や乾燥に弱く、草や木が茂った涼しい場所などを好んで生息します。



マダニの被害に合わないためには

マダニの活動が活発な時期（春から秋）に被害は多発しています。マダニが生息していそうな場所（草むらやヤブなど）に入る時は気を付けましょう。

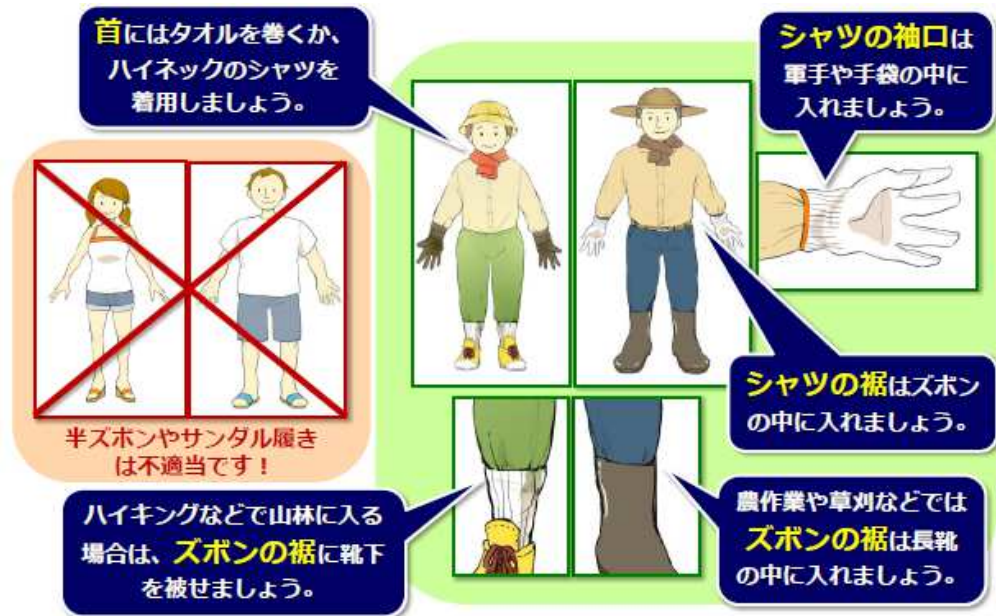
① 服装の色や材質

- ・白っぽい色の衣服は、マダニが付いても気が付きやすいです。
- ・表面がツルツルした化学繊維素材は、マダニが付きにくいです。

② 座る場合の敷物

- ・土などの地面には直接に座らず、敷物を使うようにしましょう。

望ましい衣服の着方

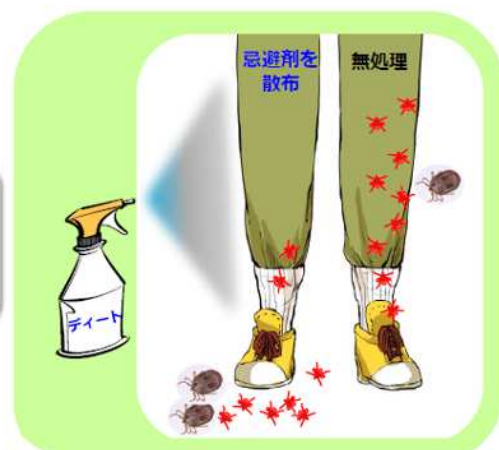


国立感染症研究所

忌避剤の活用

忌避剤はある程度の効果が確認されていますので、有効に活用しましょう。

ディート（忌避剤）の使用でマダニ付着数は減少しますが、マダニを完全に防ぐわけではありません。忌避剤を過信せず、様々な防護手段と組み合わせて対策を取ってください。



野外から帰ったら

体にマダニが付いていないか、目で確認しましょう。

上着や作業着は、
家の中に持ち込まない
ようにしましょう。



屋外活動後は、
シャワーや入浴で、
ダニが付いていないか
チェックしましょう。



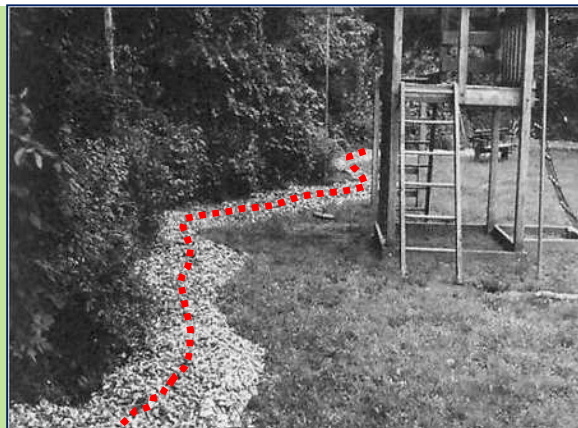
ガムテープ
を使って服に
付いたダニを
取り除く方法
も効果的です。

家の周りでできること

マダニは、湿度が高く湿っていて、あまり気温が高くない場所を好みます。森に近い庭がある場合には、その境界と庭の管理をすることが重要です。

① 森と庭の境界管理

•境界線に 1.5m 幅の小石や、石を積み上げた垣根でボーダーラインを形成し、マダニが庭に入るのをできるだけ阻止しましょう。



ペストコントロール 2013,10月号

② 庭木の手入れ

- ・ 覆い茂っている場合には剪定し、下枝を刈り取って地面に太陽の光が当たるようにすると、地表が乾燥して住みにくくなります。

③ 遊具などの配置

- ・ ベンチ、滑り台、ブランコなどがある場合、できるだけ森から離し、その下は土が露出するようにしましょう。

④ その他

- ・ 刈り取った草や材木などを置かないようにしましょう。ネズミの生息場になると、ネズミはマダニの吸血源になります。
- ・ その他の野生動物が侵入するのも防ぐことが大切です。



キチマダニ



フタトゲチマダニ



京都市内で
見つけました！



ヒゲナガチマダニ



タカサゴキララマダニ



台湾ンカクマダニ